2020年度 日本工学院八王子専門学校											
声優・演劇科											
作品研究 I											
対象	2年次	開講期	前期	区分	選	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	長谷川 浩司			実務 経験	有	職種	俳優				
授業概要											
映画、テレビ、舞台など、多くの作品に触れ、様々な角度から研究します。また、映画・テレビ・演劇などの業界人による講演を通じて知識を深めます。											
到達目標											
表現の手法の嗜好が偏らないよう様々なジャンルの有用性を考慮したうえで、声優・俳優として与えられた配役の役柄としての理解を深め、その為にどのような役作りをしていくべきかを考える力を持つようにする。時代と共に変化をしていく演技法を、自己の表現の為に、外観改造、内心や心情を思索する等、様々な要素を役作りに取り入れ、声優・俳優の仕事に対して本質的な向き合い方ができる役者になる事を目標にする。											
授業方法											
舞台・映画・アニメーション・ゲーム等、様々なメディアにおいて必要な、キャストについて考察する。演技する者としての作品への関わり方を様々なジャンルの作品を通して、自分にトレースし、演技というものを理解する。この授業に参加する学生が、スキルアップの為にカリキュラム上組まれている科目についての理解度、芸能の世界においての必要性を理解することを目指す。											
成績評価方法											
作品内容の理解度をレポート課題にて評価する。											
履修上の注意											
授業において鑑賞した作品のレポートの提出は必須とする。作品内容（あらすじ）の理解よりも自分自身がどう思っているべきかを意見できる事を評価・重要視する。恒常的出席が単位授与の基本原則である。授業時数の4分の3以上出席をしない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
レジェメ・資料・テキストは必要に応じて配布。参考資料等は授業内で指示する。											
回数	授業計画										
第1回	～第3回 1960年代の映像・舞台作品について学ぶ										
第4回	～第6回 1970年代の映像・舞台作品について学ぶ										
第7回	～第9回 1980年代の映像・舞台作品について学ぶ										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

声優・演劇科

作品研究 I

第10回

～第12回 1990年代の映像・舞台作品について学ぶ

第11回

～第13回 2000年代の映像・舞台作品について学ぶ

第14回

～第15回 2010年代の映像・舞台作品について学ぶ